

似島ホタルの里通信

vol.14



も く じ

里人の会のこれまでのあゆみ	2
里人からのお知らせ	3
2019年度ニノシマボタルを育てる里人の会の年間活動	4～5
自然を敬い人間を育てる保護活動、似島に見る植物	6
ホタルで一句、寄せ書き、はじめてのホタル撮影	7
にのしまっぴ	8

〈表紙写真〉

撮影者：向江菊枝 撮影場所：似島ホタル池
撮影日時：2019/6/22 20:44:52～50:40（インターバル撮影）
カメラ：Pentax K-1 Mark II レンズ：31mm F1.8
ISO:1600 WB:オート 三脚使用 レリース使用

ハイケボタル 舞う夜
（ハイケボタル日帰り観察会）

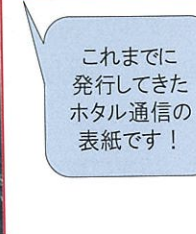
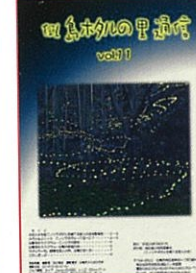
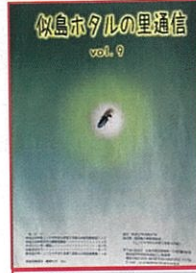
里人募集！！

【ホタルを持ち出さない、持ち込まない】
を合言葉に、ニノシマボタルが自然に命
をつないでいける環境作りに取り組んで
います。

⇒詳しくは、P3をご覧ください。

里人の会のこれまでのあゆみ

似島に生息するホタルを
ニノシマホタルと呼んでいます。
ヘイケボタル(ニノシマヘイケボタル)と
ヒメボタル(ニノシマヒメボタル)の
二種類がいるよ。



これまでに
発行してきた
ホタル通信の
表紙です！

年度	トピックス	ホタルの匹数
2001	地元からホタル保護の声が上がる。	
2002	現地調査により ヘイケボタル の生息を確認。	
2003	全島の水系を調査し、ホタルの生息域を確認。	
2004	ニノシマボタルを育てる里人の会発足。 ヘイケボタル のための環境整備を開始。	20
2005	NHK等のメディアで取り上げられ話題となる。案内看板やベンチ設置。	300
2006	似島少年自然の家などの協力を得て、夜間の観察が10日間実施できた。ホタルの飛翔数は観察開始の5/28に10匹。ピークの6/4に120匹。	120
2007	ホタルの数が減少。雑草が根を張り、ホタル池の水が乾きがちとなった。	50
2008	更にホタルの数が減少。ホタルがすみやすい池となるよう、ホタル池の雑草の根切り(田起し)開始。09年3月には広島ホタル人サミット実施。	20
2009	ホタルは池の上でなく竹藪に多く発生。 ヒメボタル の存在を疑い始める。	300
2010	ヘイケボタル のほか、 ヒメボタル もいることが判明。空いたスペースで畑作開始、夏野菜を育てる。秋には、ホタルかご製作用の麦の種をまく。	ヒ 120 ヘ 30
2011	竹製のといを設置してホタル池に常時沢水が流入するようになった。畑の麦わらでホタルかごを作った。休耕田であるホタル池に古代米を植えた。	ヒ 500 ヘ 30
2012	ホタル池に水稻を植える田植え体験を本格スタート。この年から観察会を2回実施。(ヒメボタル の観察(宿泊)・ ヘイケボタル の観察(日帰り))	ヒ 1200 ヘ 100
2013	ホタルかご用の麦は鳥害のため全滅。ホタル池の半面に稲を植えた。 ヒメボタル は雨天のためか少数だった。観察会での「にのしまランチ」スタート。	ヒ 10 ヘ 100
2014	ホタル池の看板(案内板)、リニューアル。日帰りで実施していた ヘイケボタル の観察会は、船のダイヤの変更に伴い、集会所に宿泊して行うことになった。	ヒ 700 ヘ 70
2015	ホタル池以外に山水がたまる場所にも ヘイケボタル の幼虫が育っていた。似島地区地域おこし協力隊が活動に加わる。	ヒ 50 ヘ 70
2016	豪雨で自然の家～ホタル池への道が一時通行不能に。ピオトープとして利用中の水路が砂で埋まった。似島でのイノシシの被害が大きくなってきた。	ヒ 20 ヘ 30
2017	ヒメボタル の観察会(宿泊)の他、日帰りで ヘイケボタル ミステリーツアー(観察会)を開催。応募者が殺到し、ホタルへの関心の高さがうかがわれた。	ヒ 90 ヘ 80
2018	災害前に実施した観察会では近年で最多の ヘイケボタル 出現。7月豪雨で ヒメボタル の発生場所の沢の上部の山が一部崩れた。ホタル池への土砂流入は少量。ベンチを2台更新。	ヒ 100 ヘ 150
2019	豪雨災害後初のホタルシーズン。山が荒れたためか ヒメボタル は例年と違う場所で光っていた。 ヘイケボタル はいつになく高く舞い上がり輝いていた。ベンチを2台更新、計4台に。	ヒ 150 ヘ 70

ヒ=ヒメボタル
ヘ=ヘイケボタル
を指します。

里人からのお知らせ

実は、どなたでも**随時歓迎**しています！

最近、里人の会って何してるの？参加するには？など、よくお問い合わせがあります。
そこで今回、よくあるご質問に、里人を代表して、ほくがお答えします！
まずは、

Q. 里人って？

A. 「ニノシマホタルを育てる里人の会」の活動に来たことのあるみんなのコト
ホタルや自然観察が好きな人。写真が趣味の人。みんなで活動するのが好きな人。
そんな色々な所に住んでるみんなが出会い、ホタルに会える会。それが里人の会なんだ。

Q. どんな人たちが、どんな活動をしているの？

A. こどもからご高齢の方まで、男女問わず、多くの方が参加しています！
ひと月に一度のペースで、ホタルがすみやすくなる里山環境の整備をしているよ。
みんなで草抜きしたり、水路掃除をしたり、きつい事もあるけど、
一人ひとり自分の出来ることを、自分のペースでお手伝い。
中には、運動不足やストレスの解消！なんて言うおじちゃんや、
似島が大好きで何かしたい！っていうお姉ちゃんもいたよ。
毎回参加はできないけど、ほくはいつも昆虫や貴重な水生生物を見つけて、観察かな（笑）
それに、ホタル観察会や収穫祭は格別に楽しいんだ！！

Q. ホタルはどこにいるの？いつ頃、どこで光るの？ホタル池ってどこ？ほくって誰？

A. そこは、みんなですっと守ってきた大切な場所なんだ。
だから、ココでは言えないから、ぜひいっしょに観に行きましょう！
ほくが案内してあげますから
汗をかいて、一緒にごはんを食べて、ほくと、みんなとお話しましょう！
里人の会開催日はいつでも誰でも来ていいから、空いた時間で参加してね！
そして、少しでもいいから千カラとココロを貸してください！

お試し参加でも大歓迎

以上、里人の「ほく」からの、お知らせでした。
ご興味のある方は、下の【お問合せ】まで。

【お問合せ】

南区役所地域起こし推進課

電話：082-250-8935

メール：mi-chiiki@city.hiroshima.lg.jp

2019年度 ニノシマボタルを育てる里人の会の年間活動

4月28日(日) 環境整備

今年度も活動始動！

ホタル池周辺の草刈りや田起こし、古くなったベンチの撤去作業を行いました♡

これからの活動やホタル観察会に向けて話し合いをしました。



★5月25日(土)～26(日) ヒメボタル観察会

1日目

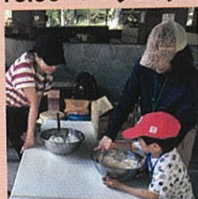
9:20 広島港発



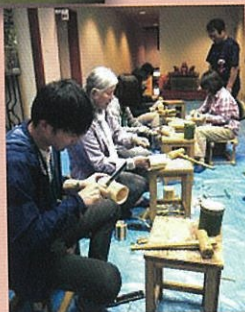
10:50 ホタル池周辺自然観察 (広島県環境保健協会の上田所長)



13:30 パウムクーヘンづくり



19:00 ホタルの勉強会と工作(里人の新枝さん)



岡本さん指導で
竹工作に挑戦

21:00 ホタル観察



災害にも負けず、飛んだよ～

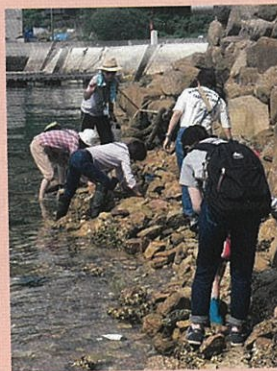
飛翔数 150 匹

2日目

9:00 海辺の生物観察(ひろしま生きた自然博物館の畑さん)

似島にはアカテガニがいっぱい住んでいます。

今年は「かに」について学びました。



12:00 にのしまランチ

名物メバルのそうめんとかめし



13:00 ふりかえり

15:10 広島港着



★6月22日(土) ヘイケボタル観察会

19:10 広島市営棧橋発

19:25 似島学園棧橋着

19:50 似島臨海少年自然の家着

オリエンテーション後、いざホタル池へ

20:15～21:15 ホタル観察



出発!



どんびき 発見!



愛 love ヘイケボタル

21:50 似島学園棧橋発

22:10 広島市営棧橋着

飛翔数 70 匹



今年も、チャーター便で



9月29日(日) 環境整備

3 か月の間に草ぼ～ぼ～! 水路や畑を綺麗に♡

竹樋もリニューアル♡



10月19日(土) 環境整備&収穫祭

今年も米作りをしませんでしたので収穫ゼロですが、

恒例の収穫祭(バーベキュー)を楽しみました♡

竹筒で炊いたご飯、美味し～い♡



11月17日(日) 環境整備

ホタル池周辺の竹やぶなどを整備しました。

その後、似島公民館での「にのしま愛らんどフェスタ」を楽しみました。たこ飯やぜんざいに舌鼓



12月14日(土) 環境整備&忘年会

新しいベンチを設置しました。ベンチ4台完成!

座り心地抜群です♡



1月18日(土) 環境整備&ホタル通信編集会議

&新年会

牡蠣たっぷりキムチ鍋、最高♡



※7月14日(日) 雨天のため活動を中止しました。

自然を敬い人間を育てる保護活動 ～災害に負けず種を繋いだたくさんの命に思うこと～

文責 似島地区地域おこし協力隊 船谷 季弘

雨降って地固まる。私たちの願いが叶ったのか、否、その強い生命力が未曾有の災害に打ち勝ったに違いない。復興元年の二ノシマホテル達は、近年稀に見る大群の命の輝きを誇らしげに魅せてくれました。

そして、我々人間も、災害を経験することにより、平穏な日常を奪われた反面、得たものも多くありました。それは、助け合い励まし合う美しさ“信頼と感謝”、苦難に対し皆の力で協力して乗り越える知恵と勇気“共助の精神”、さらに“自然への畏怖と敬意”。元来“人”は、苦難を乗り越えることでコミュニティを形成し“人間”となることができた。そう気づかせてくれた苦しくも尊い体験でした。

火中の栗を拾ったのは、人間だけではありません。その被害が日本中で問題となり、昨今街中にまで出没、似島でも被害が年々増加している、そう！イノシシです。災害の発生により生活道路の多くが崩落、立ち入りが困難となった畑や山道は動物にとって「人間＝外敵」がいない荒らし放題のパラダイスとなり、次第に畑などを営む方々は、高齢化や土砂災害に加え、「イノシシによる作物被害」と「遭遇の危険性」という負の連鎖に心が折れ、活力が低下、その結果目撃件数も増え作物被害も多発しました。

似島では3年程前から対策本部を設置し、島の有志（こちらもほぼ高齢の方たち）により昼夜の見回り・捕獲・駆除を行っており、島外から講師を招くなど、捕獲の技術向上と対策に取り組まれています。



島の有志の方による勉強会の様子

本来イノシシは、臆病で自ら人間に近づくことは無いと聞きます。一昔前は人間の手によって整備された、里（人間の生活エリア）と山林（動物の生活エリア）その境に里山（結界）があり、生活の全てを広い山林で営み、少しの食事で種を繋ぎ、人間と動物は共存し、スーパーや冷蔵庫の無い時代の中山間地では、貴重なタンパク源として崇め敬い大切にいただく。そこには、人間も自然の一部と自覚し、自然に対し畏れ、敬い、奢ることなく営み、個体数は適正に維持され、お互いが助け合い育みあう精神がありました。しかし、現在、里山整備を人間は放棄し、飽食の時代“食べられるのに”捨てられる、栄養価が高く美味しい作物に、動物達がストレス無く近づけ、存分ありつける環境があると言えます。

（※狭小地を開墾した島しょ部についての立場は少し違いますが）そんな動物達を「有害鳥獣＝害獣」と呼び忌み嫌う人間。どこかに少し違和感を覚えます。

自然災害の多くは、無計画に山の領域まで宅地造成を進めたことや、便利な生活優先のエネルギー乱用による温暖化など、“人災”ではないのか？との見解も耳にします。また、中山間地域の少子高齢過疎化などは山林と里山の整備が難しく、荒れた山が土石流を起こし、さらに、膨大なフードロスと人間と動物達の本来の心や生活のありかたを崩壊させていきます。

これからの自然保護、イノシシを切り口に見えてくる「この時代に生きる我々に課せられた多くの宿題」や「美しく、安全で秩序ある自然を未来の子ども達にどう繋げるか」など、亥年が終わり子年を迎えた今年だけに、考えてみるのもおもしろいかもしれません。

似島に見る植物 スズメウリ

湿性のある草地や林縁に自生するツル性の1年草。初秋から秋に、葉腋に径6mm位の白色で小さな花をつける。花冠は5裂。明瞭な花柄がある。雄花と雌花があり、花の見た目での区別は難しい。雌花の花の基部に小さな子房がある。果実は球形で径2cm未満、緑色から白色に熟す。葉腋から下垂し、葉は、径10cm程の卵円形、基部はハート型に窪み、葉先は三角形状になる。葉は波型の鋸歯があり、葉質が薄い。葉に対して生ずる巻きひげで草や木などにからみつく。本州以西に分布。

名前の由来

カラスウリに対して果実が小さいので「スズメウリ」という説、果実を小鳥のスズメの卵にみたてたという説などがある。似島臨海少年自然の家からホテル池に向かう道沿いに見られる。（多摩の緑翁「多摩丘陵の植物と里山の研究室」参照）



ホタルで一旬

観察会に参加された方の短歌が、中国新聞中国歌壇に掲載されたことをきっかけに、里人の会の会員から俳句と短歌を募集することになりました。

今回で4回目の掲載です。

蛍狩り スマホにタブレ 光らせて
狩ったつもりで 人狩りになり (向江)

ニノシマの 初夏といえ ば ホタル池 (ニク)

災害に めげず負けない たくましさ
ホタルの力 勇気百倍 (むっちゃん)

竹やぶに ビカビカ光る 可愛さに
心とませ ホタル愛 (むっちゃん)

舞踏会 あの子と誰が カップルに
ホタル婚活 夜空彩る (むっちゃん)

ホタル舞い 生命尊き 輝き見つめ
にのしまへ はたるのひかりに (むっちゃん)

にのしまの 澄んだ夜空に ホタル舞う (N・W)

夏の夜の 流星みたい ホタル舞い (T・M)

暗やみも ホタルの光が 道しるべ (T・M)

年に二度 癒しのひととき 似島へ (たる)

竹林に 光線描きつ ホタルの舞い (K・Kaz)

列をなす 側を飛びかう ホタルかな (K・Kaz)

見どころ いっぱい 似島ホタル (M・Y)

南に 新名所ニノシマ ホタル池 (M・Y)

宵闇を ひかり彩る 島はたる (M・S)

うつすのは 光と希望よ 息子の瞳 (K・K)

虫の音に 驚きつつも 夢さそう

笹すれ香る はたるの火 (Eros)

ニノシマボタル 観察会の里人の声

ヒメボタルの観察会に
2回目の参加でした。
とても楽しいホタルを
見ることができました。
来年もいっぱい飛ぶかなと楽しみです。

ホタル池やその周辺をキレイに
する作業はとっても楽しい！
皆でさわやかな汗がかけ
るのが最高です。
ホタルの出現は最高です。

ヒメボタルの幼虫
や、途中の姿所近
くの多量のホタル
など、今年も様々
なホタルを見ることが
できました。

今年もたくさんホタルが
観察できました！
観察会や水辺の観察会
で、ホタルの観察が
できて良かったです。

ホタル池に通って8年、ホタルの
生態を感じました。優雅なホタルは
ホタルの下には、いろんな生物が
いることも感じて身が引きはる
思っていました。 南

ニノシマボタル 観察会

令和元年 5月25・26日

お天気もよく、2日間
とても楽しかったです。
来年もヒメボタルに
会いに来たい。 天

初めは上着を着て、
のどかな自然の中で、とても
良い時間を過ごしました。
今年はバーンクハン作りも
ヒメボタル100匹、ハイケの幼虫も
たくさん見れました。 とも

ホタルにあって
うれしかったぞ
そうし

昨年9月から、ホタル池に
いって、ホタルの観察を
して、とても楽しかったです。
今年も、ホタルの観察を
して、とても楽しかったです。
今年も、ホタルの観察を
して、とても楽しかったです。

今年も、ホタルの観察を
して、とても楽しかったです。
今年も、ホタルの観察を
して、とても楽しかったです。
今年も、ホタルの観察を
して、とても楽しかったです。

ホタル池に通って8年、ホタルの
生態を感じました。優雅なホタルは
ホタルの下には、いろんな生物が
いることも感じて身が引きはる
思っていました。 南

～新たな出会い、気付き、そして挑戦～

2018年、似島への移住を果たした一人の青年がいました。彼は、ホタル撮影がきっかけで里人の会に興味を持ち、都合が合う時には活動に参加してくれるようになり、会も活性化しました。彼が感じたニノシマボタルへの熱い想いを、インタビュー&記念すべき初作品とともに紹介します。

- Q. 1年間の活動を振り返ってみて、いかがでしたか？ A. ホタルを観るのは初めてで、暗闇の中に光り輝く姿は幻想的で感動しました！
Q. ホタルや自然への考え方に変化をもたらしたと聞きましたが？ A. はい、とても寿命が短く繊細な生き物と知り、哀愁を感じました。
Q. それで里人の会へ？ A. 成長過程も学びたく、光り輝くホタルを見るため活動する里人の皆さんと一緒に保護活動をしように決めました。次回はもっと良い写真を撮ります！

ありがとうございました。まだ若い彼は、スキルアップ必至!! それでは、デビュー作をどうぞ。



ヒメボタルとハイケボタルのコラボ



ハイケボタルの求愛行動の始まり



オスとメスが交信しています



にのしまつぷ

似島 汽船

広島方面-To Hiroshima-

似島発	学園着発	広島着
From	Gakuen	Hiroshima
Ninoshima	Arrival	Arrival
6:00	→	6:20
7:00	→	7:20
8:00	→	8:20
9:00	→	9:20
10:15	→	10:35
11:30	→	11:50
13:00※	13:20	13:40
14:30※	14:50	15:10
16:00	→	16:20
17:00	→	17:20
18:00	→	18:20
19:00	→	19:20
20:00	→	20:20

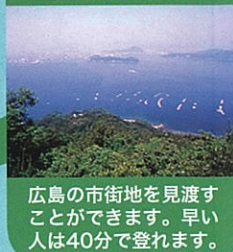
サイクリングロード⇒

1周約10km 自転車で約1時間!



似島 汽船

安芸小富士



広島市の街地を見渡すことができます。早い人は40分で登れます。



検疫所感染物の
焼却炉跡
(赤レンガの煙突)

後藤新平の像

似島学園
小・中

旧歩哨所

学園前棧橋

旧通用門跡

弾薬庫へのトンネル

似島汽船

バンカーサプラ



安芸小富士
標高 278.1m

活動場所を
YouTubeでご覧
いただけます!



インフォメーション



- ◆レンタル自転車
- ◆レンタル釣具
- ◆レンタル牡蠣焼き機
- ◆バウムクーヘン
手作り体験
- ◆FREE Wi-Fi

イチオン!

似島ビーチ 長浜



海水浴やキャンプに最適な
ビーチ。人も少ないため、
穴場的なスポット。
フェリー乗り場から歩いて
15分。

長浜 軍用連絡トンネル



軍の特攻隊兵舎と、長浜の燃料貯蔵
施設を結んだ軍用連絡トンネル。今
は坂を登らなくて良い近道として、
お年寄りに利用されている。

●地獄の鼻

ホテル池 (里人の活動場所)

ドイツ菩提樹

似島臨海少年自然の家
(旧ドイツ軍停屍収容所)

展望台

住田水産(牡蠣)

旧軍用棧橋
(第1~第3)

谷口水産(牡蠣)

沖野食料品店
(日曜もやってる!)

陸軍馬匹検疫所跡

似島小

似島中

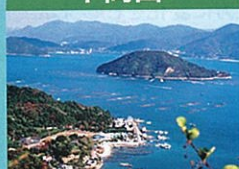
原爆慰霊碑

続木水産(牡蠣)

慰霊の広場

下高山
標高 203m

下高山



下高山は瀬戸内海の
多島美を見ることができる
スポットです。
安芸小富士の帰りに登る
のがおすすめです!

里人募集中

「ニノシマボタルを育てる里人の会」

“持ち出さない、持ち込まない”を活動のモットーに、
似島に生息するホタルの育つ環境整備をしています。
会費は不要です。ただし、交通費等の実費は自己負担
となります。

《お申込み・お問い合わせ先》
〒734-8522 広島市南区皆実町一丁目5-44
広島市南区役所市民部地域起こし推進課
「ニノシマボタルを育てる里人の会」事務局
電話 (082) 250-8935
FAX (082) 252-7179
E-mail: mi-chiiki@city.hiroshima.lg.jp

